

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成27年2月6日
【四半期会計期間】	第24期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	株式会社サンマルクホールディングス
【英訳名】	Saint Marc Holdings Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 片山 直之
【本店の所在の場所】	岡山市北区平田173番地104
【電話番号】	086-246-0309（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 網嶋 耕二
【最寄りの連絡場所】	岡山市北区平田173番地104
【電話番号】	086-246-0309（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 網嶋 耕二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第3四半期連結 累計期間	第24期 第3四半期連結 累計期間	第23期
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成26年 4月1日 至平成26年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
売上高 (千円)	40,118,662	45,019,075	54,347,778
経常利益 (千円)	5,140,365	5,596,814	7,102,317
四半期(当期)純利益 (千円)	2,790,095	3,190,198	3,831,862
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,783,498	3,202,521	3,814,154
純資産額 (千円)	35,262,140	38,303,470	36,292,039
総資産額 (千円)	43,624,088	47,904,737	46,795,886
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	246.89	287.20	340.53
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	80.8	80.0	77.6

回次	第23期 第3四半期連結 会計期間	第24期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日	自平成26年 10月1日 至平成26年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	89.40	89.91

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益と雇用環境は良好に推移し、景気はゆるやかに回復しつつある一方で、消費税引き上げ後の駆け込み需要の反動や節約意識の高まりにより、個人消費が弱含むなど、引き続き景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、物価上昇に伴う実質所得の低下等による消費のマイナス影響に加え、円安の影響による原材料価格上昇など、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、計画に基づく積極的な新規出店を継続し、将来の企業成長の基盤拡充を図るとともに、既存業態のブラッシュアップや研修充実の継続実施により、業態の魅力度アップや店舗サービスの質の向上に努め、引き続きお客様に支持いただける店舗づくりに注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営店2店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営店9店舗、BISTRO309直営店2店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店19店舗、宝田水産直営店1店舗、石焼炒飯店直営店6店舗、サンマルクカフェ直営店26店舗、実験中の神戸元町ドリア直営店2店舗及び倉式珈琲店直営店10店舗をそれぞれ出店（当第3四半期連結累計期間出店数：直営店77店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第3四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店722店舗、フランチャイズ店83店舗、合計805店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高450億19百万円（前年同期比12.2%増）、経常利益55億96百万円（同8.9%増）、四半期純利益31億90百万円（同14.3%増）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は237億73百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は33億30百万円（同7.5%増）となりました。

ファーストフード事業売上高は187億73百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は29億31百万円（同10.4%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は479億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億8百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は120億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億55百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の支払、事業拡充に伴う新規出店の有形固定資産の取得等に伴い現金及び預金が27億33百万円減少した一方、売掛金が8億5百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は358億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して29億64百万円増加となりました。これは事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が19億73百万円、敷金及び保証金が3億83百万円それぞれ増加したこと、非連結子会社への貸付及び増資等により、投資その他の資産のその他が4億35百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は69億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億96百万円の減少となりました。これは買掛金が1億3百万円、未払消費税等が4億91百万円それぞれ増加した一方、未払金が6億23百万円、未払法人税等が9億91百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は26億66百万円となり前連結会計年度末と比較して94百万円の増加となりました。これは主にリース債務が1億68百万円減少した一方、直営店出店に伴う資産除去債務が2億39百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して20億11百万円増加して383億3百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.0%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年2月6日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	11,388,685	11,388,685	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	11,388,685	11,388,685	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年10月1日 ~ 平成26年12月31日	-	11,388,685	-	1,731,177	-	14,355,565

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 280,800	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 11,044,700	110,447	-
単元未満株式	普通株式 63,185	-	-
発行済株式総数	11,388,685	-	-
総株主の議決権	-	110,447	-

（注）1. 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が100株及び株主名簿上当社子会社である旧株式会社サンマルク（現株式会社サンマルクカフェ）名義となっておりますが、実質的に所有していない株式3,900株が含まれております。

2. 「単元未満株式」の株式数の欄には、証券保管振替機構名義株式52株、自己保有株式84株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社サンマルクホールディングス	岡山市北区平田173番地104	280,800	-	280,800	2.47
計	-	280,800	-	280,800	2.47

（注）上記のほか、株主名簿上は当社子会社である旧株式会社サンマルク（現株式会社サンマルクカフェ）名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,900株あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」の欄の普通株式に含めております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、京都監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,357,003	7,623,021
売掛金	2,783,485	3,589,159
商品	157	162
原材料及び貯蔵品	247,850	319,531
その他	533,111	535,499
貸倒引当金	16,205	17,802
流動資産合計	13,905,402	12,049,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,692,296	18,665,553
土地	3,087,944	3,087,944
その他(純額)	1,997,143	2,166,517
有形固定資産合計	21,777,385	23,920,015
無形固定資産		
その他	159,671	163,203
無形固定資産合計	159,671	163,203
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,405,928	8,789,123
その他	2,547,610	2,982,935
貸倒引当金	112	112
投資その他の資産合計	10,953,426	11,771,946
固定資産合計	32,890,483	35,855,164
資産合計	46,795,886	47,904,737
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,965,006	2,068,661
未払金	3,380,729	2,757,089
未払法人税等	1,671,343	680,077
引当金	45,237	157,957
資産除去債務	1,776	9,899
その他	867,357	1,260,814
流動負債合計	7,931,451	6,934,499
固定負債		
退職給付に係る負債	112,882	127,850
資産除去債務	2,045,554	2,284,653
その他	413,958	254,262
固定負債合計	2,572,395	2,666,767
負債合計	10,503,847	9,601,267

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,800	3,038,800
利益剰余金	32,741,657	34,743,306
自己株式	1,245,958	1,248,497
株主資本合計	36,265,677	38,264,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,362	38,684
その他の包括利益累計額合計	26,362	38,684
純資産合計	36,292,039	38,303,470
負債純資産合計	46,795,886	47,904,737

【(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	40,118,662	45,019,075
売上原価	8,950,542	9,876,599
売上総利益	31,168,120	35,142,476
販売費及び一般管理費	26,062,089	29,573,791
営業利益	5,106,030	5,568,684
営業外収益		
受取利息	14,412	7,944
受取配当金	4,314	2,791
受取賃貸料	73,382	84,467
為替差益	16,490	18,425
その他	14,759	14,958
営業外収益合計	123,359	128,586
営業外費用		
支払賃借料	71,587	79,237
その他	17,436	21,218
営業外費用合計	89,024	100,456
経常利益	5,140,365	5,596,814
特別損失		
固定資産除却損	302,706	278,232
減損損失	47,949	43,253
特別損失合計	350,656	321,485
税金等調整前四半期純利益	4,789,709	5,275,328
法人税、住民税及び事業税	2,000,608	2,080,401
法人税等調整額	994	4,728
法人税等合計	1,999,613	2,085,129
少数株主損益調整前四半期純利益	2,790,095	3,190,198
少数株主利益	-	-
四半期純利益	2,790,095	3,190,198

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,790,095	3,190,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,597	12,322
その他の包括利益合計	6,597	12,322
四半期包括利益	2,783,498	3,202,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,783,498	3,202,521
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
-	当社は、SAINT MARC USA INC. に対して、3,626千米ドルを上限として10年間(平成27年9月頃賃借開始予定)の賃料保証をする旨の契約を締結しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
減価償却費	1,983,702 千円	2,257,068 千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	554,936	49.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金
平成25年11月13日 取締役会	普通株式	554,911	49.00	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年12月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式216,000株の取得を行いました。この自己株式の取得及び単元未満株式の買取りにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,067,522千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,245,201千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	610,944	55.00	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金
平成26年11月13日 取締役会	普通株式	577,605	52.00	平成26年9月30日	平成26年12月10日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	21,000,308	17,247,378	38,247,686	1,870,975	40,118,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	21,000,308	17,247,378	38,247,686	1,870,975	40,118,662
セグメント利益	3,097,733	2,654,588	5,752,321	646,291	5,106,030

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価422,141千円、各報告セグメントに配分していない全社費用2,095,126千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	23,773,147	18,773,127	42,546,275	2,472,800	45,019,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	23,773,147	18,773,127	42,546,275	2,472,800	45,019,075
セグメント利益	3,330,171	2,931,392	6,261,564	692,879	5,568,684

(注)1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価553,253千円、各報告セグメントに配分していない全社費用2,612,426千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「ファーストフード」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	246円89銭	287円20銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	2,790,095	3,190,198
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	2,790,095	3,190,198
普通株式の期中平均株式数(株)	11,300,777	11,107,882

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

1. 配当金の総額 577,605千円
2. 1株当たりの金額 52円
3. 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成26年12月10日

(注) 平成26年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年2月6日

株式会社サンマルクホールディングス
取締役会御中

京都監査法人

指定社員 公認会計士 山本 眞 吾 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 高田 佳 和 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンマルクホールディングスの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンマルクホールディングス及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。